



題字：鳩山威一郎

機関紙「友愛」

発行所

一般財団法人 友愛

〒112-0002
東京都文京区小石川
1-10-13 小石川文ビル2階

TEL:03-5684-3188

FAX:03-5684-3186

E-Mail:you-i@yuai-love.com

http://yuai-love.com

発行人：川手正一郎

編集人

隔月1回 10日発行

年会費

2,000円

宋慶齡基金会訪問 王家瑞理事長と歓談

王家瑞理事長訪日時の約束を果たして

伝統技術から最新鋭科学技術まで子どもたちのための教育施設 広大な敷地に建つ近代的な建物は豊かな教育環境に満ちて

四月十五日(日) 植林活動および友愛講演会実施のため訪中していた鳩山由紀夫理事長は、宋慶齡基金会の王家瑞理事長を訪問。同基金会在実施する子どもたちへの教育の取り組み方、組織の運営状況などつぶさに見学した。また旧知の王家瑞理事長とは昼食会を交えて親しく歓談、王家瑞理事長もこれに込め基金会の運営する教育施設を自ら案内して歓待した。鳩山由紀夫理事長は、お礼にと「中日友愛長存」と書を認め、王家瑞理事長に贈呈した。(事業報告・65周年記念報告など掲載のため本記事の掲載を今号にさせていただきました)

王家瑞理事長は、中国人民政治協商会全国委員会の副主席、中国共産党中央対外連絡部長などを歴任した中華人民共和国政府の重鎮で、鳩山由紀夫理事長が総理大臣を務めていた折りは、正式に表敬訪問で、首

相官邸を訪れている。今回の訪問も、三月下旬王家瑞理事長が訪日されており、その際に面談した鳩山由紀夫理事長と「是非次回北京で」と話が弾み、それを受けるかたちで実現したものである。

王家瑞理事長と鳩山由紀夫理事長は、「ピンポンでもしながらの外交をしましょ」と冗談を言い合う程の仲で、この日も、広大な敷地の中、池のある公園を鳩山由紀夫理事長が誉めたところ、王家瑞理事長から、

「あそこに日本の桜を植えたのです」と話があった。聞けば王家瑞理事長が来日のさいに見た「緑色の桜」(鬱金の桜)がとても気に入ったので、美しく美しいあの緑の桜を植えたいと思われたそうだ。「それでは

緑の桜をプレゼントしなければいけませんね」と鳩山由紀夫理事長が答えるなど、和やかな話をしながらの懇親食事を終え、基金会の誇る教育施設を見学することとなった。

宋慶齡基金会は、中国でも五本の指に入る大きな基金会(財団)で、宋慶齡女史の遺志を實踐するため、子どもたちの教育に力を入れている。広大な敷地に建つ、大きなビルは、すべて子どもたちの教育施設として活用されている。

伝統技術としては、各民族が今も継承している民芸品を始め、製糸、紙すきなど実際に学習し修得できる設備が整っている。また、伝統芸術、芸能の分野では、古箏、古琴、揚琴、二胡などの古典楽器演奏、舞踏の教室などを教える教室もある。加えて、子どもたちが

発案、設計した衛星が現実宇宙を飛んでいるのこのとで、最先端科学を教える設備も充実している。子どもたちは普通の小学校、中学校としての学習の他に、特殊な技術などを学ぶことができ、職を得ることがたやすくなる支援にも繋がっているとのこと。

これらの施設を一部屋、一部屋丁寧に王家瑞理事長が鳩山由紀夫理事長を案内してくださり、鳩山由紀夫理事長も子どもたちに話しかけ、実際に楽器を演奏してみたり、舞踊の手ほどきを受け一緒に踊ったりと、和やかに見学の時を過ごした。



終始笑顔を交えての交流。王家瑞理事長からも、友愛の事業に対してお褒めの言葉をいただいた



乞われて認めた揮毫。王家瑞理事長も素晴らしいと大いに喜んでおられた



古箏の演奏を、子どもに教えられながら挑戦する鳩山由紀夫理事長。王家瑞理事長は、二胡に挑戦



王家瑞理事長を囲んで、記念撮影。三メートルはあると思われ天井まで、見事な牡丹の壁画が



パンフレットの最初のページを飾る宋慶齡女史の肖像。穏やかな笑みが魅力的である



中国宋慶齡基金会的案内パンフレットの表紙。宋慶齡女史を讃える内容が掲載されている

直前には「中華人民共和国名誉主席」の称号を授けられた。孫文の妻としても有名。姉の宋霏齡、妹で蒋介石夫人の宋美齡と共に宋家三姉妹と称される。教育に力を注ぎ「子供たちは私たちの未来であり、私たちの希望です」との言葉を残している。中国の母と呼ばれ、多くの人に慕われている。宋慶齡基金会は、その遺志を讃える意味で設立、命名された。



注文もAIを搭載したロボットに。食べ物運んで来るのもロボット。二ヶ月待ちの人気カフェ



小さなロボット同士で戦うサッカー。ロボットを操縦する子、写真を撮る子も真剣な眼差し



宋慶齡女史の住んでいた家は、今も大切に保存されている。色とりどりの花が敬愛の証である

友愛時評

▼日本は自然災害の多い国だと改めて感じさせられる年になっていく。一月に草津白根山が噴火し、六月に大阪府北部地震、七月の西日本豪雨、そして今月に入り台風二一と北海道胆振東部地震が立て続けに発生した。▼とりわけ七月豪雨による死者が二〇〇人を超えたのは衝撃だった。その多くが独居高齢者であったことは、今後の災害時に教訓としなくてはならない。

▼今夏、共同で授業を行ったアルドリッチ教授は著名な災害研究者で、著書『災害復興におけるソーシャル・キャピタルの役割とは何か』は邦訳もされている。「ソーシャル・キャピタル」は「社会関係資本」とも訳されるが、要するに様々な形態の人々の絆のことで、それが豊かに結びついている地域は災害時に被害が少なく、また復興も早いというところをアルドリッチ教授は計量的に実証している。

▼絆を豊かなものにするためには、家族や学校・職場での人間関係、あるいは町内会や社会福祉協議会といった行政が提供するネットワークに加えて、人々が自発的に集う場が重要である。祭りや趣味のサークルなど楽しく参加できる空間を活発なものにすることが、災害にも強い地域社会を可能とし、かつ地域経済にもプラスの効果をもたらすという。▼「社会資本関係」は二五年ほど前にハーバード大学の帕特ナム教授が提唱して世界中に広まった概念だが、「友愛」はそのずっと前から存在している。超高齢化社会に突入した日本が経済にも災害にも強い国であるため、必須のものである。(ヒゲ)

エヤップが友愛の支援に感謝 難民救済の記録写真集を作成

民族衣装を纏ってリサさん来訪

八月十九日(日)友愛サ
ロンに素敵なお客様が来訪
された。

何より、当日出席した全
員が感動したのが、全て
「日本語」で表記されてい
ることだ。(下の写真参照)

エヤップ(オーストリア
勤労青年連盟)からの使者
として友愛を訪問されたの
は、リサ・フィッセンガー
さん、夏休みの旅行で来日
したのだが、それなら友愛
にと使者を託された。

永年姉妹団体として親交
を続けているエヤップは、
現在難民救済活動に力をい
れており、友愛の支援(寄
付)が、活動推進に役立つ
ことから、是非にお礼と
現在の活動の成果を報告し
たいとのことで、リサさん
に、「活動報告写真集」を託
し、友愛に届けてくださっ
た。

写真集は上製本の装丁が
されており、手作りだとい
え、立派な仕上がりがだ。

表紙のデザインも凝って
おり、関係する人々の横顔
がデザインモチーフに使
われており、難民の青年た
ちだけでなくお年寄り、小
さな子どもたちなど、多く
の人がエヤップの事業によ
って笑顔を取り戻している
様子がうかがえる。

*写真集は友愛HPに掲載



丁寧に感謝を伝える使者を遣わし
たエヤップに対し、お礼の言葉を
述べる鳩山由紀夫理事長

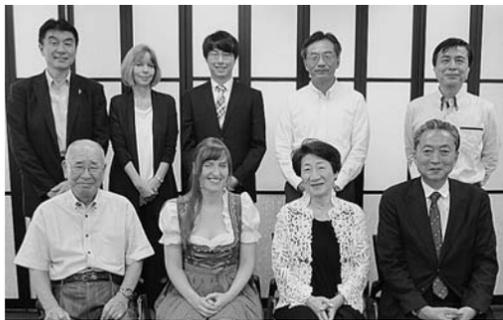


リサさんには、日本の伝統文化
「香」を楽しんでいただけ
が井上和子理事から贈られた

エヤップと難民救済について説明
されているページ。建物は、難民
の住まいとして提供されている



リサさんが大好きという焼き
弁当で懇親食事を。リサさんの衣
装については四面「ひとこま」を



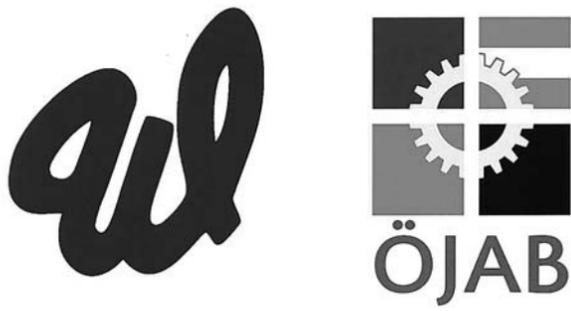
全員で記念撮影。全員の笑顔がエ
ヤップと友愛の友好関係が、良好
に継続することを物語っている

そんな中、2015年12月、エヤップはオーストリアの内務省から急を要する依頼を受け
ます。それは、保護者のいない難民をエヤップの施設に迎え入れ、世話をし、学校の授
業を受けられるようにしてほしいという依頼でした。2016年3月7日からエヤップはオ
ーストリアの内務省と協力し、オーストリアにおける難民援助プロジェクトを発足させま
す。そのプロジェクトはほどなくして重要なベストプラクティスのプロジェクトになり
ました。そのプロジェクトによってアフガニスタンやソマリア、ギニアから来た14歳か
ら16歳までの25人の保護者のいない難民が、エヤップハウス・メードリングの青少年用
の寮で新しい住まいを得ることができました。彼らは授業を受け、教育面でも保護され
ています。そしてまた、運動とスポーツ、クリエイティブな物作り、家庭菜園・ガーデ
ニングを通して、そしてまた寮の他の住人たちや近隣の人々との日常において、彼らの
新しい環境への統合(インテグレーション)が進められているのです。

日本友愛協会の大変お心ある寄付金により、保護者のいない難民の人々が、エヤップ
のプロジェクトを通して、もう一度笑顔を取り戻し、安心して安全な生活を手に入れるこ
うことができました。このフォトブックによって私たちは、日本友愛協会の寄付金のおかけ
で取り戻すことができた笑顔、日本友愛協会の方々にご覧いただきたいと思いま
す。

そのお心寄せと大がかりな援助に深い恩義と心からの感謝を申し上げます。日本友愛協会
にはこの上なくご助力いただきました。

本当にありがとうございました



写真上/報告写真集の表紙 赤
系を基調に優しいデザイン
写真下/写真集の最終ページ
写真左/エヤップの気持ち溢
れた報告記事のページ



Wilhelm Perkwitsch
ヴィルヘルム・ベルコヴィツ

Petra Heidler
ペトラ・ハイドラ

Monika Schüssler
モニカ・シュッスラー

Josef Wimmer
ヨーゼフ・ヴィンマー



友愛の事業は、中国でも高く評価
されているとの汪鴻雁副主席の言
葉に、鳩山理事長も笑顔で応える

汪鴻雁副主席からのお土産は、京
劇の面が配された額。四面「ひと
こま」に詳細を掲載



汪鴻雁副主席は、日中青
少年交流事業推進のため来

中華全国青年連合 汪鴻雁副主席 鳩山理事長訪問

多忙な日程のなか時間を割いて
交流事業計画に話は尽きない

七月十九日(木)来日中
の中華全国青年連合 汪鴻
雁副主席一行が、鳩山理事
長を訪問し、今後の相互の
活動、協力について、親し
く話を交わした。

日、多忙な日程のなか、是
非「友愛」を訪問したいと
のことから実現した。

汪鴻雁副主席は、日中青
少年交流事業推進のため来

植林活動を始め、友愛国
際写真コンクール、友愛講
演会など、多くの事業にお
いて中国国際青年交流中心
を通じて協力を頂いている
全青連、とりわけ汪鴻雁副
主席は全ての事業に積極的
に参加して下さり、「友
愛」を支援して下さって
いる。いつも笑顔を絶やさ
ず、仕事の話しは毅然と答
えを出す、働く女性の鑑の
様な素敵な女性である。

残念ながら、この面談の
前は、中国大使館、後は埼
玉県庁訪問と刻みの予定
が詰まっており、友愛事務
所ではなく、地の利から鳩
山事務所を訪問し、鳩山由
紀夫理事長と親しく今後
について話しあった。

汪鴻雁副主席と鳩山事務所を訪
れた皆さん。実はこの他にも約二十
人が訪日されているとのこと



汪鴻雁副主席と鳩山事務所を訪
れた皆さん。実はこの他にも約二十
人が訪日されているとのこと

中国国際交流中心主催 中国へのアプローチ「一带一路」の国々からの若者たち 特別フォーラムに日本代表として二名派遣 十ヶ国二〇名の若者が参加 一〇日間の充実日程

友愛が推薦する二人の若者の抱負を紹介

東北大学

法学部

四年 安達陽菜

こんにちは。今年十月「二帯一路フォーラム」に参加することになった、東北大学法学部の安達陽菜と申します。今回の派遣で、私たちは、文化や産業など様々な切り口で中国の内部を見る事ができます。個人的に初めての訪中となることもあって、期待で胸がいっぱいなんです。

海外で学ぶチャンスを得ただけでなく、学生の身として大変嬉しいことです。私は二年前の夏から一年間、交換留学生としてオーストリアのウィーン大学で学びました。その時の、留学に至るまでの苦労を思うと、今回の機会のありがたさをひしひしと感じます。

留学するまで、私はパスポートを持ったこともありませんでした。山形県山形市の一般家庭に生まれて、幼い頃はいつも田んぼや畑で遊んでいました。国際交流の機会がないどころか、日常生活で国際社会を意識

することもあまりなかったと記憶しています。大学で初めて地元を離れ、時間的なゆとりも感じるようになったことで、「もっと世界を広げたい」「自分が知らないことを知りたい」という思いが強くなり、自然と海外へ関心が向きました。

大学の七月、留学しよう一念発起して参加した留学希望者交流会で、私は衝撃を受けました。その場にいた全員が顔見知りだったからです。その日の帰り道は、自分の知識・経験不足に対する忸怩たる思いや、「留学は限られた人のものなのかもしれない」という脱力感が頭がいっぱいだったのを覚えています。

その後も、奨学金のための勉強や、アルバイト、語学学習等に追われ、海外で学ぶという事は簡単ではないのだと感じました。

留学中の二〇一七年二月、ウィーンで貴財団の派遣団と交流しました。その後、包括的核実験禁止条約機関連備委員会(CTBT O)とオーストリア外務省へ同行いたしました。急ぎよ合流した一学生の私に、オーストリア外務省へ足を踏み入れるという貴重な体験をさせていただけました。今回は派遣団の一員として、再び貴財団にお力添えをいただきます。「海外で学びたい」という思いを持つ学生の背中をすつと押してくださいと素晴らしい活動だと思えます。

今回の訪中で、私が個人的に行いたいと考えていることが二つあります。一つ目は、中国という国家について考えることです。隣国である中国は、歴史的にも政治・経済的にも最も関係の深い国家の一つです。約一週間で見る事ができるのは、大中国のほんの一部だと思えますが、この機会に、国家としての中国を考えを及ぼせたいと思っています。特に、習近平国家主席が提唱する「二帯一路」政策が、国内ではどのような影響を及ぼしているのを見ることができればと思います。

今回の訪中で、私が個人的に行いたいと考えていることが二つあります。一つ目は、中国という国家について考えることです。隣国である中国は、歴史的にも政治・経済的にも最も関係の深い国家の一つです。約一週間で見る事ができるのは、大中国のほんの一部だと思えますが、この機会に、国家としての中国を考えを及ぼせたいと思っています。特に、習近平国家主席が提唱する「二帯一路」政策が、国内ではどのような影響を及ぼしているのを見ることができればと思います。

二つ目は、現地で生きる人々の生活を知ることです。自分から現地に足を運ぶ醍醐味は、人々の当たり前の日常を目にすることができるといふ点だと思えます。私にとって初めて踏み入れている人がいます。現地

の人々の生活を知ること、中国出身の友人たちやこれから出会う中国人の方々のバックグラウンドを知ることにもつながると考えます。また、生活環境や暮らしかから、国際的な多様性を感じたいと思っています。

当たり前のことですが、日本人が十人十色であるように、中国で暮らす人々も「中国人」という言葉でひとくくりにできません。現地の学生や住民と交流する際は、国家という枠組みにとらわれすぎずに個人対個人の対話をしたいです。また、現地にいるだけでは現地の人との交流の機会が持てないこともあり得ると思えます。実際私が留学していた時も、インターナショナル

ナルな大学に通うだけでは現地の生活に触れるチャンスはほとんどなく、ホームステイやコーラス団体への参加を通して現地の人々と関わっていました。今回も、機会があれば自発的に交流することを心掛けたいと思えます。

最後に、今回の訪中の間に、人として国家としての友愛にも考えを及ぼせたいと思えます。実りあるプログラムになるように、張り切って臨みたいと思えます。

そんな中で今回のプログラムへの参加ということ、自身の言語能力レベルの確認とそのさらなる向上を目指す意味でも意義あるものにしていきたいと思えます。

「二帯一路」構想は、古来より東アジア地域と中央アジア地域、さらにはヨーロッパ地域を結ぶ重要な交易路であったシルクロードに着想を得たものであると理解しておりますが、現代においてはこれらの地域間



政治経済学部
四年 渡邊 健



昨今、長年の間冷え切っていた米朝関係に改善の兆しが見られたしたり、他方米中間での重大な貿易摩擦が発生したりするなど、東アジアを取り巻く国際関係は日々大きく変化しています。こうした中で、各国の学生が一堂に会し、交流を深める場に於ける機会をいただけたことは非常に貴重で、また重要なことであると考えています。

このことは「二帯一路」構想の根幹であるインフラ整備・経済協力・貿易促進の前提になることでもあり、未来を担う若い世代のわれわれがその役割を果たすことは重要です。

- 土壌をつくる必要があると考えます。
- このように考えると、今回のプログラムで参加者それぞれが果たすべき重要な役割は、できる限り多くのバックグラウンドやアイデンティティを持つ人と深く交流し、相互理解を深めていくことであるといえます。
- このことは「二帯一路」構想の根幹であるインフラ整備・経済協力・貿易促進の前提になることでもあり、未来を担う若い世代のわれわれがその役割を果たすことは重要です。
- 私自身は日本の一学生であり、特別なスキルや能力を持っていくわけではなく、一人の日本の若者として、世界を知り、それを持ち帰って少しでも伝えることができれば、先に述べた大きな役割の少なくとも一部分は果たすことができるだろうと考えています。微力ながら、吸収できることをできる限り吸収し、伝えられることをできるだけだけ伝えられるよう努力したいと思えます。
- 一帯一路フォーラムスケジュール
- 二日目/空路成都へ
- 三日/成都ハイテク産業区・成都科学城等視察
- 四日目/青城江国際物流港・金沙博物館見学など
- 五日目/都江堰農村振興モデル村見学
- 六日目/茶作り見学
- 茶摘み体験
- 茶芸見学など
- 七日目/杜甫草堂博物館
- 八日目/パンダ繁育研究基地見学など

公益社団法人けん玉協会主催 第十六回けん玉ペインティングコンテスト表彰式開催

掘雛奈子さんが友愛賞受賞

友愛賞は数年ぶりに一般の部から受賞者が

八月二十六日(日)東京池袋のサンシャインシティ噴水広場に於いて、第十六回けん玉ペインティングコンテストの表彰式が開催され、川手正一郎常務理事が、個人及び団体の受賞者へ、友愛賞の授与を行った。

毎年「友愛」が提供している友愛賞の個人の部には、数年ぶりに一般の部から受賞者が生まれた。受賞したのは掘雛奈子さん(二十歳)、けん玉の生産が盛んな山形県からの応募で、この日も山形から授賞式のため上京した。

作品には、海を悠々と泳ぐ鯨の親子が描かれており、けん玉の丸い玉を上手に使い、海の広大さが表現されている。他にも深海に生きる海の生物、海草なども描かれており、ご本人の作品への主題は、海の雄大さ、生き物の営みの永遠に続く雄大さなどを描きかけたこと。

海の生物、鯨の親子が安心して永遠に命を繋いで行くことの出来る自然環境を大切にしたいとの思いは、そのまま友愛の理念、自然



賞状を読み上げる川手常務理事。迫力のある声に、受賞者を讃える気持ち加わっている。

挨拶する公益社団法人日本けん玉協会松永義希会長。三千を超える応募作品に感謝を述べた。



掘雛奈子さんの作品(中央)大海を悠々と泳ぐ鯨が見事に描かれている。HPにカラー写真掲載



ペインティングコンテストの表彰に相応しく、作品の写真が正面と裏面共に印刷されている斬新賞状

ひとごま

満面の笑みの鳩山由紀夫理事長と一緒に写っているのは、この度エヤップから使者として来訪されたリサさん。オーストリアの民族衣装に身を包み、こちらも笑顔で写真に納まってくださいました。

リサさんの民族衣装は、この日友愛を訪問するためわざわざ持ってきていらしたそうで、お会いした理事一同感激することしきり。

スカートとエプロンはローズ色、ベストは黒にローズ色のリボンがウエストを締めています。これはリサさんによると、現代向けにアレンジされた物だそうで、伝統衣装を着たいと思う若い女性に好評だそうです。

日本でも昨今浴衣に、以前にはなかった色や柄が使われていますが、そんな感覚でしょうか。

素敵な民族衣装、細かい気配り、リサさんありがとうございます。

こちらは、中国の京劇に使われる鮮やかな「面」の色々です。赤、だいたい色、黄色、白など色とりどり、これは悪役だろうとか、これは若者役かな等等と想像していると、物語りが浮かんで来るような、楽しさに溢れています。

今号二面下段に記載の記事、中華全国青年連合/汪鴻雁副主席からいただいたお土産です。

日本の能面も面によって役どころが違いますが、これ程カラフルではなく、面の顔の伏せ方などで表現するという微妙なもののように、どちらかという、能面より歌舞伎の隈取り(くまどり)に近い印象です。この面の役どころと歌舞伎の隈取りの役どころを比べてみると共通点が見つかったり、案外隈取りのルールだったり、面白い発見があるかも知れません。

近日中に軽井沢友愛山荘にお目見えする予定です。

民族衣装のリサ・フィッシャングさん(左)と、笑顔で写真に納まる鳩山由紀夫理事長(右)



色鮮やかな、京劇面の数々。友愛山荘にあるその他の展示品に、もうすぐ仲間入りします



時事川柳 服部迪夫 作

―列島燃えさかる猛暑だと蚊に刺されない利点あり

―困塊世代突入 期待より不安が募る七〇代

―予報の難しさ 梅雨明けの勇み足もあり氣象庁

―カジノ法成立 カジノ法修正液が待っている

―地元出身野球少年 金足を全国区へと押し上げる

―逝去 沖繩の象徴になる翁長さん

―量産台風 台風と競争しているカレン

―池江璃華子選手 ジャカルタの一番星は十八歳

―友愛写真コンクール 映像は大地を讃え宙を飛ぶ

機関紙『友愛』にご投稿ください！

機関紙『友愛』編集部では、皆様のご投稿をお待ちしております。皆様のご投稿は、皆様の活動報告、地域の紹介、季節の『友愛』に何でもいいです。写真も大歓迎です。皆様のご投稿ください。

締切り：特に設けず。いつでもご投稿ください。掲載ご希望の月がある場合は、2ヶ月前までに原稿必着
要領：手書き原稿・データ原稿・メールでの投稿何でも対応可能です。写真も紙焼(カラー・白黒)・デジカメデータでも。

編集後記

◆四季という言葉は穏やかで、なんとなく人の心を豊かに育む。しかし、酷暑、猛暑、集中豪雨、数々の台風、今夏は観測史上初の気象情報等々、さまざまな変化の連続でした。人間の自由な振る舞いに地球が怒ったのかも知れない。自然にも辛抱の限界がある。そんな感じですが。平和や幸せは人間が自らの欲望をコントロールしない限り決して得られない境地。人間と自然の共栄は不可能かも知れない。しかし共存の時間を可能な限り延伸させるのは子孫に対する現代人の義務だ。間もなく訪れる紅葉の秋に期待する。雪月花よ、いつまでも。(脱稿後北海道地震が発生しました)(K)

◆公益法人へ移行申請中の今、従前の事業を実施しながら内容を明文化したり、第三者の意見を幅広く取り入れたりと、一歩一歩確実に基礎を築いている感じがします。実働は鳩山友愛塾修了生の四人の理事が担当、大活躍しています。具体的な書面作り、企画、打ち合わせなど、忙しい時間を割いて、積極的に動いてくださっています。現在の若者は一〇〇倍、千倍の発信力を持っている。友愛を一〇〇人の若者に発信しよう」という意気込みと理念、素晴らしいと思います。「友愛」には、大勢の塾修了生という「強い味方がいるんだ」と、改めて感動しています。多くの修了生の皆さん、頼りにしています！(も)